



# 夢をかたちに

週報

2008～2009年度 RI 会長

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

李 東 建

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanrc@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanrc@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第1948回 No.35

平成21年4月14日(火)

本日のプログラム

外部卓話

平川 忠敏 様

「いのちの電話とは」

### 第1947回例会

#### 会長挨拶

野井倉洋豪会長

今回は1947回の例会です。本日は 永里純二 様の第2回目の卓話です。テーマは 究極の景気振興策 です。

今後 我々の社会活動方針に対しての何らかの役立つ示唆を得られるものと期待しています。5月24日 新世代の為のロータリー会議 メインテーマ:世界同時不況-混迷の時代にどう生きるか 就職戦線異常あり その現状と対策 が 黎明館 にて開催されます。多数の参加をお願いいたします。

#### <ゲスト・ビジター紹介>

ゲスト:永里 純二 様

#### <会務報告>

○4月の二火会は4月14日(火)です。天文館「いちにさん」19:00～会費5000円です。回覧をまわしております。多数のご参加を。

○40周年記念式典に参加よろしくをお願いいたします。ご家族でご参加ください。

○次週14日のプログラムはフリートークでしたが、外部卓話平川忠敏様でテーマは「いのちの電話とは」に変更になりました。

#### ○新世代の為のロータリー会議

メインテーマ 世界同時不況-混迷の時代にどう生きるか

「就職戦線異常ありその現状と対策」

開催日時:平成21年5月24日(土)午後1時～4時

場所:黎明館2階講堂

各クラブ10名の出席をお願いします。

人頭分担金:下期の会員数×1000円

<出席報告> 4月7日

会員数	35名	前々回出席者	定款
出席会員	18名	メイクアップ	休会
出席率	51.42%	出席訂正率	

#### <スマイルボックス>

☆永里純二様—またお招き頂きありがとうございました。

☆野井倉洋豪君—本日は外部卓話です。永里先生再度よろしくをお願いします。

☆池田義男君—忙しくて例会に出席できません。先月は誕生日、今月10日は天皇陛下と同じ結婚記念日です。天皇陛下と一緒に50年になります。

☆馬場節也君—誕生日、結婚祝をいただきありがとうございます。

☆安藤巖君—むかし、むかし、そのむかしゴルフで73ができました。ようやくその年に達しました。今後エージーシュートに向けて頑張ります。

☆井料長敏君—誕生日をいただきありがとうございました。71歳になりました。

☆須部純範君—本日は永里先生の講話第2弾です。楽しみにしています。本日計18000円 累計288,000円

本日のプログラム 「究極の景気振興策」

永里 紘二志学館大学教授



今日本では膨大な供給能力が無駄になっています。政府機関によるとGDP(国内総生産)ベースで5%のデフレギャップ(需要不足)が生じています。約25兆円の需要不足です。

(実際はこの倍あるでしょう。) このことはかなりの遊休の資本設備と労働力が存在していることを意味します。企業はものすごい勢いでこの差を埋めるべく工場閉鎖、生産ラインの縮小、派遣労働者の解雇等のいわゆるリストラを行っております。デフレギャップとは供給能力に対して需要が不足していることをさします。現在は政府が手を打たずにいますので供給が縮小し需要と均衡させようとしているのです。需要を増やし現在ある供給能力に合わせるべき姿です。そのためには政府が国債を発行しそれを財源にして公共事業を行うという正当な方策がありますが、それより数十倍需要を喚起する良い方法があります。政府が紙幣を発行し一人当たり20万円の臨時ボーナスを支給するのです。現在日本には1億2千万人の国民がいます。4人家族なら80万円が預金口座に振り込まれます。総額24兆円です。1年か2年のうち波及効果でもってGDP(国内総生産)は大幅に押し上げられ大不況は一瞬のうちに吹き飛びます。減税をする手もありますが減税はもともと税金を払っていない人には返ってきませんし貧富の差を広げます。また存分にお金を持っている金持ちが減税の恩恵を受けることになっても貯蓄にまわるだけです。ここで皆さんは政府紙幣なんて所詮賤金ではないかまたそんなことをすればハイパーインフレが起きるのではないかと疑問をもたれるでしょう。今市場に流通している日銀券も賤金みたいなものです。われわれは日銀(国)を信用して使っているにすぎないのです。金に裏付けされた兌換券ではなく日銀(国)が保証している不換紙幣なのです。自己利益のみを追求する国会議員、高級官僚に保証を委ねるたよりないものなのです。ケインズ経済学の古典的名著ラーナーの「雇用の経済学」には「景気振興は租税や国債からくるのではなく印刷機からくる」とあります。国債を発行して民間に引き受けさせても資金が市場から吸い上げられて資金が不足するだけです。国債は返さなくてはならず利子も発生します。政府紙幣なら返す必要もなく当然利子も要りません。ハイパーインフレの恐れはどうでしょうか。需要不足が約25兆円もあるのですからその範囲内ならハイパーインフレはおきません。ただデフレギャップが解消しインフレギャップが生じかけているときには、直ちに発行をやめなくてははいけません。そのためには正確なデフレギャップ(またはインフレギャップ)を見積もる担当官庁を設立する必要があります。なぜこのような「打ち出の小槌」があるのに使おうしないのでしょうか。日銀及び実

務を知らない学者が抵抗するからです。日銀は「最後の通貨の番人」を自負しており、通貨がインフレの危険(通貨の価値が減ること。すなわち日銀の商品である通貨が毀損されること)に皿けるようなことは絶対避けようとしています。日本を大恐慌から脱出させた高橋是清はケインズが世に出る周年前から政府紙幣発行と極めてよく似た政策を実行しました。今こそ第二の高橋是清の出現が待たれます。(供給は生産、需要は消費と読みかえてください)

ポール・ハリスフェローメダル&証書授与

沼田常夫会員



「友」インターネット速報

財務状況に関する最新報告(抜粋)

世界的な不況に伴い、2月28日現在、国際ロータリー(RI)では約2,600万米ドル、ロータリー財団では約2億2,200万ドルの含み損(未実現損失)が生じていますが、幸いにも健全なキャッシュフローを維持しており、運営費に充てるために投資株を売る必要は生じておりません。会費やその他の活動からの収入は前年度より増え、財団へのロータリアンからの寄付も昨年度と比べ600万ドル増えています。

また、財団の投資価値の大きな下落により、財団の運営予備金が減少したことを受け、管理委員会は1月の会合で、今会計年度の国際財団活動資金(WF)のプログラム使用予算を1,630万ドル削減する決定をしました。既に実施が予定されているプログラムに資金を提供するとともに、このような状況下で財団の長期目標を達成していくため、今後、管理委員会は、2009-10会計年度以降に向けた措置についてさらに検討していく予定です。

エド・フタ(布田) RI事務総長

4/21(火) 外部卓話 川越 桂路様		4/28(火) 40周年実行委員会		5/5(火) 祝日の為休会	
日/日	クラブ	催会場	プログラム(△変更)		
4 / 15 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	△インフォーマルミーティング		
	鹿児島西	山形屋	クラブフォーラム		
	鹿児島南	ゆうづき	△ 親例会 18:30~		
4 / 16 (木)	鹿児島東	山形屋	クラブフォーラム		
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	△20周年記念式典のため9日に		
	千代田	鹿児島東急イン	会報雑誌委員会		
4 / 17(金)	鹿児島	山形屋	会員卓話 中野 寿康会員		
4 / 20(月)	鹿児島中央	山形屋	社会奉仕フォーラム		
4 / 21(火)	鹿児島西	鹿児島東急イン	△かごしま環境館		